

# ALS患者の ACP(アドバンスケアプランニング) の実際

独立行政法人国立病院機構 南京都病院  
西病棟3階 看護師長 川端 成佐

# 本日のお話

1. ACPとは
2. ACPのタイミングとは
3. ACPで話し合うことは
4. ACP実践に必要なスキル

# 1. ACP (アドバンスケアプランニング)とは

将来のケアについてあらかじめ考え、計画するプロセスないしそのプロセスにおける患者の意思決定を支援する活動を指す。

患者、家族、医療、ケア提供者の

## 「話し合いのプロセス」

と解釈されており患者の希望や価値観に沿った、将来の医療・ケアを具体化することを目標にしている。

## 2. ACPのタイミング

### ◆ 第1ステージ

自らのアイデンティティや生き方・死生観を意識化する  
健康な人が行うACP（行政・教育機関）

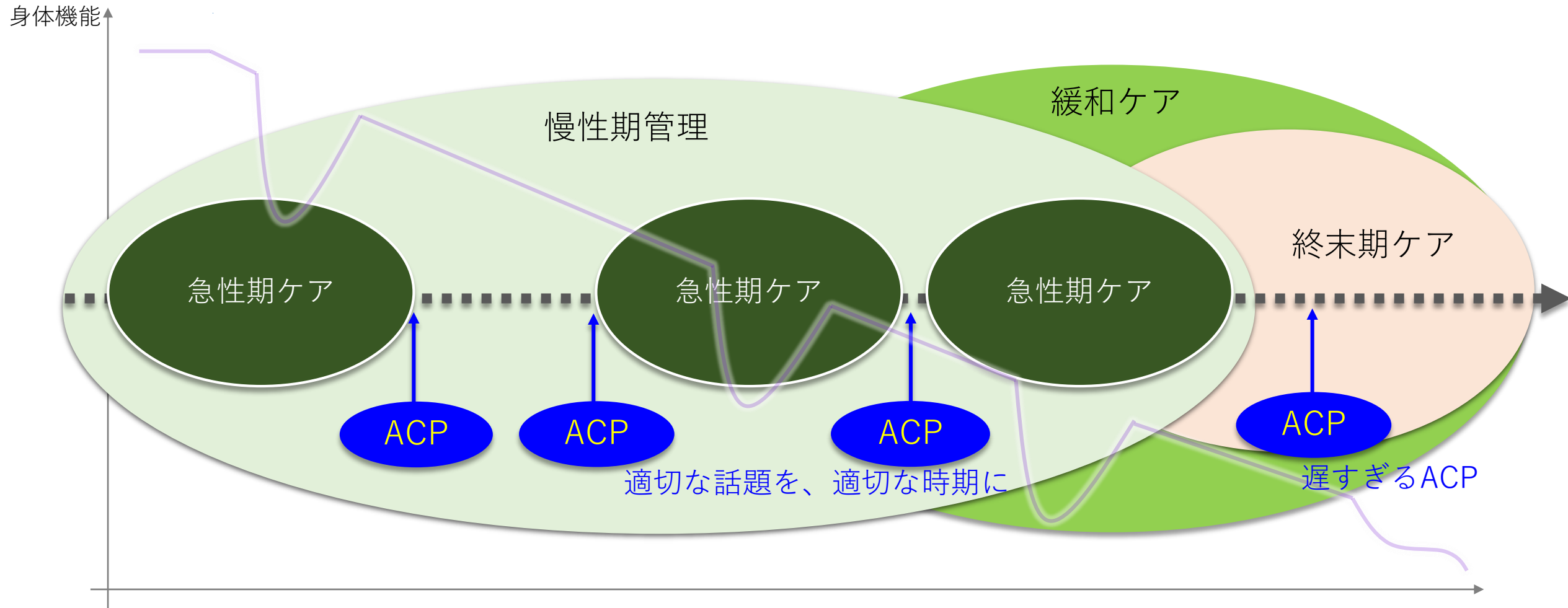
### ◆ 第2ステージ

自分が持つ疾患に対してどう折り合いをつけながら生きるかを考えていく  
病気の節目、生活の変化、外来、在宅療養、入退院支援

### ◆ 第3ステージ

エンドオブライフディスカッション、終末期医療・ケア・療養場所の選択  
入院、救急医療

# 緩和ケア・終末期ケアとACPのタイミング



# 3. ACPで話し合うこと

1. 病状の認識を確かめる
  2. 今後の見通しを共有する
  3. 気がかりなこと、心配なことを尋ねる
  4. 大切にしたいこと、心の支えとなっていることを尋ねる
  5. 治療の選好（してほしいこと/してほしくないこと）を尋ね、最善の治療  
選択となるように支援する
1. 療養場所の選好を尋ねる
  2. 蘇生についての意向を尋ねる
  3. 代理決定者を選定する

## 4. ACPの実践に必要なスキル

- 1) 選択肢の提示だけでなく本人の「価値観」に着目する  
「価値観」・・・何に価値を認めるかという考え方。善悪・好悪などの価値を判断するとき、その根幹をなす物事の見方

ACPで話し合うこと

大切にしたいこと、心の支えとなっていることを尋ねる

ACPにおける意思決定は何かを「決定」することだけでなく、意思を意味づけている本人の「価値観」を知ること、それを家族、医療従事者と共有する。

## 2) ACPを行うときの具体的なコミュニケーションのポイント

### ACPを切り出すとき

「念のためにみなさんに聞いているのですが」

「どの方にもお聞きしていることなんですが」

### 病状の悪化に伴い具体的なことについて切り出すとき

「ご家族や身内で同じことを体験したことがありますか」

「身体が動かなくなったりどのような状態で過ごすのがいいですか」



# ALS患者のACPで大切なこと

- ・根治治療がなく進行性であり、胃瘻造設・NPPV装着・気管切開・TPPV装着等の選択が迫られる



呼吸・食事・生活行動・コミュニケーション等の変更を余儀なくされる  
日常生活の大きな変更や人工呼吸器の装着等自己決定が求められ、患者本人が最終決定者であっても、家族や医療者の価値観による判断も影響して本人は葛藤する



タイミングをのがさず話し合うことを軸に患者、家族と話を  
して意思決定を支援していくことが大切